

令和3年度第1回太田市指定管理者候補者審査委員会 議事録

○ 日 時 令和3年10月1日(金) 午前9時から午後3時30分まで

○ 場 所 太田市役所 10階 会議室10A

○ 審査事項

- (1) 太田市高度救急医療支援センター《非公募》
- (2) 太田市新田ななくさ地域活動支援センター《非公募》
- (3) 太田市世良田生涯学習センター《公募》
- (4) 道の駅おおた交流センター《公募》
- (5) 太田市宝泉小第2放課後児童クラブ《公募》
- (6) 太田市沢野小放課後児童クラブ及び  
太田市沢野小第2放課後児童クラブ《公募》
- (7) 太田市藪塚本町放課後児童クラブ及び  
太田市藪塚本町第2放課後児童クラブ《公募》

○ 出席者

委員長 木村 正一

委員 竹沢 悦男、木村 早苗、亀井 貴文、栗原 直樹、高島 賢二

事務局 瀬古事務局長、松本次長、長谷川次長補佐、近藤係長代理、岡本主任  
所管課

- (1) 健康医療部健康づくり課  
檜原部長、大澤副部長、笠原参事、間々田補佐、金子係長代理
- (2) 福祉こども部障がい福祉課  
石塚部長、富岡副部長、吉田参事、今井課長補佐
- (3) 市民生活部尾島行政センター  
石坂部長、関根副部長、長谷川所長、守家所長補佐
- (4) 農政部農業政策課  
田村部長、川田副部長、高柳参事、河内課長補佐
- (5) 福祉こども部児童施設課  
石塚部長、富岡副部長、坂本参事、洪澤係長、須藤係長代理
- (6) (5)に同じ
- (7) (5)に同じ

公募の申請者

- (3) 太田市世良田生涯学習センター  
・公益社団法人 太田市シルバー人材センター
- (4) 道の駅おおた交流センター  
・特定非営利活動法人 Way To The Dream
- (5) 太田市宝泉小第2放課後児童クラブ  
・Childcare Support ぐんま
- (6) 太田市沢野小放課後児童クラブ及び太田市沢野小第2放課後児童クラブ

- ・ 特定非営利活動法人 さくらんぼクラブ
- (7) 太田市藪塚本町放課後児童クラブ及び  
太田市藪塚本町第2放課後児童クラブ
- ・ 社会福祉法人 善美会

## 1 開会（瀬古事務局長）

それでは、令和3年度第1回太田市指定管理者候補者審査委員会を開会させていただきます。本日は、大変お忙しいところご出席いただきありがとうございます。本年度より、事務局長を務めさせていただきます総務部副部長の瀬古と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

## 2 挨拶（木村委員長）

委員長を務めさせていただきます、木村でございます。委員の皆様におかれましては、今回の審査に関し、市が目指す公の施設毎の指定管理の進め方や、実情についてご理解賜っているのと同時に、事前に配付してある資料に目を通し、今日の審査会に臨んで頂きありがとうございます。

ご存じの様に、新型コロナウイルスの影響で、公の施設でも感染対策を打って市民の安全を担保するなどしていますが、そのことも踏まえて審査をお願いします。本日は、よろしくお願い申し上げます。

## 3 自己紹介

## 4 本日の審査委員会について（松本次長）

## 5 審査事項（議長：木村委員長）

### (1) 太田市高度救急医療支援センター（非公募施設）

《健康医療部健康づくり課による説明》

#### 【質疑】

Q1：施設の維持管理費は太田市と協議のうえ経費負担とのことですが、過去に修繕の実績はありますか。

A1：ありません。今後5年間での大規模修繕の予定もありません。

Q2：コロナ禍で医療従事者不足はありますか。

A2：病院運営に必要な人員は確保されており、現状は足りています。

Q3：利用者へのアンケート結果について、指定管理者あての意見はなかったとのことですが、実際に指定管理者に関わることはありましたか。

A3：利用者の意見等を収集・分析し、改善するための組織が設置されていますが、指定管理者あての意見は無かったとのこと。待遇等の改善については、研修を実施し利用者への対応に活かしているとのこと。

#### 【意見】

- ・太田市のみならず周辺地域の重要な医療機関として、引き続き他医療機関と連携し、役割を果たしていただきたい。
- ・財政面について、より安定した施設運営のため担当課として注視し、必要があれば適切に指導していただきたい。
- ・医師を始めとする医療従事者が働きやすい職場環境の維持に努めていただきたい。

**【審査】**

- ・挙手全員により、SUBARU 健康保険組合 太田記念病院を指定管理者候補者に選定することを適当と認める。

(2) 太田市新田ななくさ地域活動支援センター（非公募施設）

《福祉こども部障がい福祉課による説明》

**【質疑】**

Q 1：施設の利用者が大幅に減っていますが、その原因は何ですか。

A 1：同地区に障がい者向け事業所が新設されたことに伴い、そちらへ人が流出したのが主な原因です。

Q 2：繰越金が多い等、管理コストについてよく検討して頂き、民営化への準備を整えてほしいと思いますが、担当課の意見をお伺いします。

A 2：繰越金は今年度の協定にて協議済みであり、今年度末に戻入していただくことになっています。

Q 3：利用者へのアンケートや、モニタリングの具体的な内容について教えてください。

A 3：主に、収支・法令順守・利用者への意見の聞き取りやその反映方法についてをモニタリングしています。

Q 4：アンケート結果を見ると、入浴の項目が重要視されているようですが、どうお考えですか。

A 4：利用者に重度心身障がい者が多いので、家族が自宅で入浴補助するのは大変な労力がかかるということです。そのため当施設で入浴を行なうことについては重要視されており、今後できるだけ要望に応じていきたいと思っています。

Q 5：一般的な話で、時々、同様の施設で障がい者への虐待があったとの報道を見かけますが、防止策や管理体制等はどのように行っていますか。

A 5：さきほどの質疑でもあった様に、利用者への意見や要望を聞き取ること等で対応しています。

**【意見】**

- ・1年間の指定期間の延長後、施設が民営化されるが、最後まで気を抜かず施設の管理運営を行っていただきたい。
- ・利用者の意見・要望や、これまで蓄積されたノウハウについて、民営化後の運営者に引き継ぎをしっかりと行い、利用者へのサービス向上に努めていただきたい。

**【審査】**

- ・挙手全員により、社会福祉法人 愛和会をを指定管理者候補者に選定することを適当と認める。

(3) 太田市世良田生涯学習センター（公募施設）

《市民生活部尾島行政センターによる説明》

【質疑】

Q 1 : 利用者が大幅に減っている原因を教えてください。

A 1 : 新型コロナウイルス感染症拡大による群馬県の警戒度によって、施設の利用制限が行われていたためです。警戒度3だと平日昼間の貸館のみで、夜間の利用ができません。警戒度4だと全ての時間帯で貸館業務が行われなため、利用者が減少しました。また、新型コロナウイルスによる感染を危惧して利用を控える人がいたことも減少の一因だと思われます。

Q 2 : 新型コロナウイルスの影響で、施設を利用する団体数に変化はありましたか。

A 2 : 1団体（合唱サークル）の減少がありましたが、その他の団体は特に影響なく活動しています。

Q 3 : 施設を利用する団体は世良田地区を拠点にする団体が多いですか。

A 3 : そうです。地元の団体が多いです。

Q 4 : 施設の利用について、同日に長時間貸出することはありますか。また、感染症予防について、どんな工夫をしていますか。

A 4 : 同日に長時間、同じ部屋を貸し出すことはあります。感染症予防については、貸出時間に関係なく、当施設の消毒用品で利用前・利用後に室内を消毒することを依頼しており、衛生面に配慮しています。

Q 5 : 雨漏りについて、どの程度のものですか。

A 5 : 雨どいが詰まると漏れる程度です。指定期間の3年間のうちに修繕計画があるので、その際に修繕したいと思います。

《公益社団法人 太田市シルバー人材センターによる説明》

【質疑】

Q 1 : 施設の管理は2名の交代制で行うとのことですが、庭の植木等も維持管理に含まれるということですか。

A 1 : そうです。太田市シルバー人材センターに登録している会員で、植木等の管理に精通した人で対応します。基本的に、専門知識がないとできない業務以外は会員が対応します。

Q 2 : 会員の年齢制限はありますか。

A 2 : 制限はありません。

Q 3 : 会員が新型コロナウイルスに感染した場合の、指定管理業務についてどのような体制を考えていますか。

A 3 : 尾島生涯学習センターの運営も受託しているので、その職員が対応する予定です。

Q 4 : ピアノの調律、電気工事、浄化槽の点検等について、太田市シルバー人材センター内に有資格者がいれば、外部委託せず支出を抑えることができるので、ぜひ活用していただきたいのですが、いかがでしょうか。

A 4 : その予定です。

【意見】

- ・地域の生涯学習の拠点として、住民に幅広く活用されている施設であり、今後も地域に密着した施設となるよう施設運営に努めていただきたい。

- ・申請者には様々な有資格者が在籍していることから、適材適所に人員配置し、施設の維持管理を行っていただきたい。
- ・近年様々な補償が議論となる中で、所有者責任と管理者責任について、所管課と指定管理者の間で整理し、賠償保険等検討していただきたい。

#### 【審査】

- ・公益社団法人 太田市シルバー人材センター 500点満点中405点
- ・基準点（合計得点250点）以上の得点
- ・挙手全員により、公益社団法人 太田市シルバー人材センターを指定管理者候補者に選定することを適当と認める。

#### (4) 道の駅おおた交流センター（公募施設）

《農政部農業政策課による説明》

#### 【質疑】

Q1：群馬県内に道の駅はいくつありますか。利用者数についても教えてください。

A1：道の駅の数約30か所です。利用者数は、田園プラザ川場が圧倒的に多いですが、道の駅おおたは15番目くらいです。なお、利用者数のカウント方法ですが、店内のレジを通過した人で把握しており、トイレ休憩や施設内見学のみ的人数は含んでいません。

Q2：利用者アンケートの要望事項について、指定管理者としてできる限りの対応を行ったとありますが、具体的な対応について説明してください。

A2：経年劣化によるトイレの故障が頻繁に起きているため、すぐ修理依頼できるように、農業政策課が直接対応しています。また、市内巡回バスが道の駅に行かないので、延線してほしいとの要望があります。この点については引き続き交通対策課と協議していきたいと思えます。

Q3：道の駅というと、すぐ連想するのが地元の農産物という印象ですが、地場産品の販売方法についてどうお考えですか。

A3：やはり、やまといもが主力商品なので、魅力的な売り場になるよう努力しています。同様にブリックスナイン（トマト）が旬の時期には、特設コーナーにて販売しています。

Q4：決済方法について、クレジットカードも使えるようにすると消費者の利便性が上がると思えますが、導入は検討していますか。

A4：検討予定です。

Q5：お弁当の種類はどのくらいありますか。道の駅開設当初はケータリングカーでの販売がメインだった様ですが、現在のケータリングカーの出店数はどのくらいですか。

A5：お弁当は約50種類です。ケータリングカーは土日と比べると平日は少ないです。

Q6：コロナ禍なのに来場者数が微減に抑えられた秘訣はありますか。

A6：テレビ局がやまといもやマスクの商品を特集してくれたため、売り上げが想像以上に上がりました。また、ホームページやソーシャルメディアも有効活用し、結果的に集客に繋がったと思えます。

《特定非営利活動法人 Way To The Dreamによる説明》

#### 【質疑】

Q 1 : 全商品に占める、地場産品の割合はどのくらいですか。

A 1 : 約6割であり、比較的高いと思います。

Q 2 : 消費者は、道の駅で販売する地場産品について新鮮さを重視していると思いますが、その点についてどう思われますか。

A 2 : 地元の農家の方と連携し、新鮮な商品を提供できるようにしています。

Q 3 : アンケートの意見収集方法で工夫していることはありますか。

A 3 : 道の駅スタンプラリーにアンケートをつけ、意見収集の機会を増やしています。また、インターネットやソーシャルメディアで書き込みされた内容も、意見の一つとして参考にしています。

#### 【意見】

- ・商品に占める農産物等の地場産品の割合が高いことから、新鮮さはもちろん、特徴的な商品を通して太田市の魅力を発信していただきたい。
- ・より良いサービスが提供できるよう、休憩機能、情報発信機能等においても充実を図るため、他部局との連携を強化していただきたい。

#### 【審査】

- ・特定非営利活動法人 Way To The Dream 500点満点中390点
- ・基準点（合計得点250点）以上の得点
- ・挙手全員により、特定非営利活動法人 Way To The Dream を指定管理者候補者に選定することを適当と認める。

(5)から(7)の放課後児童クラブについて

《福祉こども部児童施設課による説明》

#### 【質疑】

Q 1 : 宝泉小第2放課後児童クラブは来年度に向けて新築中のため、施設、申請者ともに新規ですが、初めてゆえの懸念材料はありますか。

A 1 : 申請者は指定管理者としての実績はないものの、こども園で園長代理の経験があるため、実務については特に心配はないと思われま。

Q 2 : 新規施設、新規指定管理者に児童を預ける保護者にとっては、心配な点が多いと思われまますが、担当課としてその点をどうお考えですか。

A 2 : 保護者が安心して児童を預けられるよう、保護者と指定管理者双方をフォローしていく予定です。

Q 3 : 宝泉小放課後児童クラブと宝泉小第2放課後児童クラブの指定管理業者が異なる場合、利用料金、サービスの質に差が出てしまい不公平に感じる保護者もいるかと思いますが、担当課としてはどうお考えですか。

A 3 : 利用料金については、来年度から上限を設ける予定なので、その範囲内で運営していただきます。利用料金やサービスは、市場原理でより良いものを追求していただけたら一番良いと思っています。

Q 4 : 市場原理に任せきりだと大きな格差が生じてしまい、一方の指定管理者に入所希望者が集中してしまう可能性もありますが、格差是正の対応について、担当課ではどう対応す

る予定ですか。

A 4 : 基本的には指定管理者の方針を尊重しますが、格差が大きい場合は是正するよう指導する予定です。

(5) 太田市宝泉小第2放課後児童クラブ（公募施設）

《Childcare Support ぐんまによる説明》

【質疑】

Q 1 : この団体の立ち上げにあたっての動機を教えてください。

A 1 : 利益優先ではなく、児童に寄り添った運営をしたいという思いから団体を立ち上げました。

Q 2 : 太田市には放課後児童クラブが数十カ所ありますが、後から参入する強みを生かした戦略はありますか。

A 2 : 保護者は児童を預けている手前、意見を言いづらい面があるので、保護者が意見を言いやすい環境にしたいと思っています。

Q 3 : 団体を立ち上げたばかりということですが、職員は予定どおり確保できますか。

A 3 : はい。職員については、令和3年12月で現在の勤務先を退職し、その後は放課後児童クラブ開設への準備に取り掛かる予定です。

Q 4 : 送迎時、保護者が忙しく直接会話をする時間が限られてしまうと思いますが、何か工夫する点はありますか。

A 4 : 普段から児童の様子をよく観察し、気づいた点を随時報告することでコミュニケーションを密に取りたいと思っています。

Q 5 : 職員のお子さんは、放課後児童クラブへの入所経験はありますか。

A 5 : あります。その経験も運営に活用する予定です。

Q 6 : 近隣の放課後児童クラブの利用料金と比較して、一か月あたり7,000円の設定は保護者にとって手頃だと思いますが、運営者側として持続性を担保できる額ですか。

A 6 : 太田市内の放課後児童クラブの中にはもっと低い設定で運営しているところもあるので、利用者側・運営者側ともに無理のない設定で運営していきたいと思っています。

【意見】

- ・ 効率的な運営を目指し、経費削減に努めることは非常に評価できるので、行き過ぎにならないようバランスを取りながら安定した運営を行って頂きたい。
- ・ 児童や保護者の意見を積極的に聞き取り、利用者の声を反映した施設運営をしていただきたい。
- ・ 新規事業者、新規施設のため保護者等が安心して利用できるよう、担当課は注視し、必要な場合は指導していただきたい。
- ・ 保護者の意見を積極的に聞き取り、利用者の声を反映した施設運営を継続していただきたい。

【審査】

- ・ Childcare Support ぐんま 500点満点中350点
- ・ 基準点（合計得点250点）以上の得点

- ・ 挙手全員により、Childcare Support ぐんま を指定管理者候補者に選定することを適当と認める。

(6) 太田市沢野小放課後児童クラブ及び太田市沢野小第2放課後児童クラブ（公募施設）  
《特定非営利活動法人 さくらんぼクラブによる説明》

【質疑】

- Q1：看護師資格保有の職員がいらっしゃるとのことですが、新型コロナウイルス感染症予防の点について注力していることをお聞かせください。
- A1：新型コロナウイルスが流行する前から実施していることですが、ペーパータオル使用、1時間に1回のドアノブ等消毒、石鹸はミューズ使用、児童用机に仕切り版を設置、手指アルコール1時間毎、空気清浄機の設置等で感染予防をしています。
- Q2：利用者からの意見を収集する方法はありますか。
- A2：意見箱を設置していますが、投書は少ないです。そのため、保護者との連絡用ラインで意見を募集しております。保護者からは、連絡用ラインで意見や要望を伝えて頂くことが多いです。
- Q3：コロナ禍ならではの問題はありませんか。
- A3：新型コロナウイルス感染拡大防止による小学校の自由登校と、放課後児童クラブの開所時間が、利用者にとっては都合がつかないものであったため、開所時間についての要望が寄せられたことがあります。
- Q4：いじめや、ケンカはありますか。
- A4：いじめはありませんが、ケンカはあるのでその際は指導員が間に入って仲裁しています。
- Q5：保護者会役員との連携はどのようにしていますか。
- A5：基本的には連絡用ラインを活用しています。保護者会役員の代表者と運営者側で定例会を開催し、議事録を保護者へ配布しています。

【意見】

- ・引き続き保護者と積極的にコミュニケーションをとり、信頼関係を維持して運営にあたっていただきたい。
- ・他の放課後児童クラブでの長年の運営実績があり、児童の健全育成を行ってきたとのことであるが、当該施設においてもそのノウハウを生かした施設運営をしていただきたい。

【審査】

- ・ 特定非営利活動法人 さくらんぼクラブ 500点満点中380点
- ・ 基準点（合計得点250点）以上の得点
- ・ 挙手全員により、特定非営利活動法人 さくらんぼクラブを指定管理者候補者に選定することを適当と認める。

(7) 太田市藪塚本町放課後児童クラブ及び太田市藪塚本町第2放課後児童クラブ（公募施設）  
《社会福祉法人 善美会による説明》

【質疑】

- Q1：職員と保護者代表で構成された運営委員会は、年にどのくらいの頻度でおこなわれている

ますか。

A 1 : 年に3、4回実施していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため昨年度は回数を減らして実施しました。大事なフィードバックの機会なので、工夫して実施したいと思います。

Q 2 : バランスシートの負債について、賞与引当金が前年度600万円、当年度860万円と大幅に増加していますが、要因は何ですか。

A 2 : 当法人が運営する保育園に関するもので、所属する職員の人数が増えたためです。放課後児童クラブの運営や職員数とは関係がない項目です。

Q 3 : 長期間、放課後児童クラブを運営しているとのことですが、これからの課題はありますか。

A 3 : 職員の確保です。労働時間帯が年間を通して不規則（学期中は平日午後の短時間、夏休みは朝から11時間）なため、条件に合う人材を確保するのが難しいです。

Q 4 : 職員の確保が難しいのであれば、近隣住民の高齢者に依頼して、児童と交流してもらうのはいかがでしょうか。

A 4 : 新型コロナウイルスが流行する前は、ボランティアで手品を披露している地元の高齢者を呼んでイベントを開催していましたが、コロナ禍では開催が難しいです。また、ボランティアの方は保育のプロではないので、児童への声掛け、児童同士のトラブル対応等、不慣れな方がほとんどであり、必要な時間帯での長期的な勤務には適さないと考えられます。

Q 5 : 様々な性格の児童がいると思いますが、ケンカやトラブルがないように気を付けて運営していただきたいと思います。

A 5 : いじめは別問題ですが、児童間の意見の食い違いについては、人とのコミュニケーションの取り方を学ぶ機会になるので、トラブル後の対応（スタッフ間の会議、児童への指導、保護者への報告）を充実させています。

#### 【意見】

- ・保育園や他の放課後児童クラブでの運営で培ったノウハウを生かした施設運営をしていただきたい。
- ・引き続き、児童および保護者に寄り添った運営で信頼関係を維持していただきたい。

#### 【審査】

- ・社会福祉法人 善美会 500点満点中380点
- ・基準点（合計得点250点）以上の得点
- ・挙手全員により、社会福祉法人 善美会を指定管理者候補者に選定することを適当と認める。

#### 6 その他

- ・事務局が作成した審査報告書について委員長が確認を行い、委員長から市長に報告する。
- ・市長へ報告後、報告書の写しを委員へ送付する。

#### 7 閉会（瀬古事務局長）

以上をもちまして、令和3年度第1回太田市指定管理者候補者審査委員会を閉会いたします。ありがとうございました。